

Twin Trip

西村姉妹
の

File 102

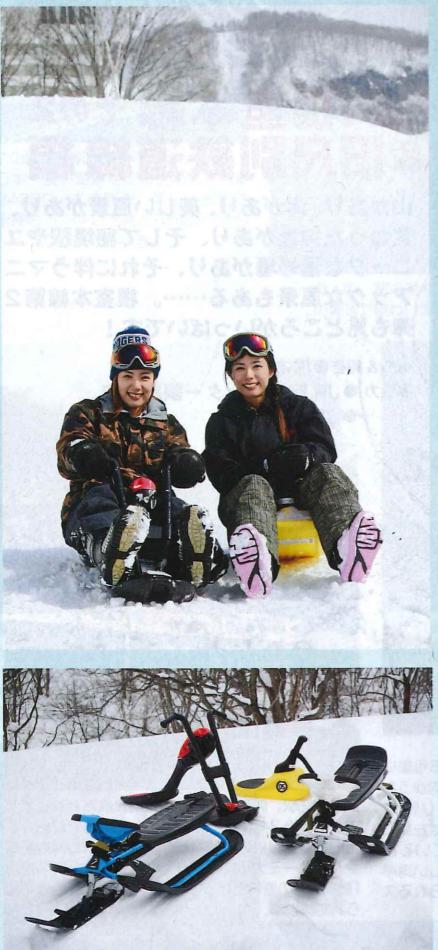
雪原で思い切り ライディング！

体全体で操作して、人車一体となって走る面白さを知っているライダーは絶対にこの楽しさが分かるハズ！ 今回は「雪の季節ならではの乗り物」を初体験してきました！

撮影・鈴木広一郎 文・西村梨沙／香折



他にも楽しいアクティビティがいっぱい!



転倒に次ぐ転倒（笑）。雪まみれになって遊んで、笑って楽しかったね♪ ソリは人の乗った次のリフト席に載せられ移動します。「板なし」のリフトがちょっと新鮮でした！

水上高原スキーリゾート

☎ 0278-75-2222

<http://www.minakami-ski.jp/index.php>



広大な敷地で豊富なアクティビティが楽しめる水上高原スキーリゾート。家族連れや初めての人も安心して雪山を十二分に堪能できます。今季のスキーリゾートの営業期間は4月5日まで。詳しくはホームページをご覧下さい。スノーモービルの体験ツアーは1人1万円（60分・税込）で3月末まで楽しめますよ！

りがとうございました。

さて、水上高原スキーリゾートで楽しめるアクティビティは沢山あります。今回その一部を体験させて頂きました。まずはスノーライダーというバイク型のソリ。ご覧の通りハンドルがあり、ブレーキをかける事も出来ます。ジップフィーは真ん中に付いているハンドルを使い体重移動して乗る新感覚の小型ソリ。最後がスノーレーサー。スウェーデンからやってきた雪上のレーシングカーでハンドル、ブレーキが付いています。ジップフィーは滑りやすいので面白い！ 叫んで転んで大爆笑♪

「ギヤア～！」わああ～！ ハードが結構出るので面白い！ 叫んで転んで大爆笑♪

ソリ遊びをするのは何年振りでしょうか。ワクワクしてきた♪ 専用のコースを見ると結構な勾配。何はどうも滑ってみよう♪ 沙スノーライダー。香折ジップフィー行つてきます。

「ギヤア～！」わああ～！ スビ

りがとうございました。

さて、水上高原スキーリゾートで楽しめるアクティビティは沢山あります。今回その一部を体験させて頂きました。まずはスノーライダーというバイク型のソリ。ご覧の通りハンドルがあり、ブレーキをかける事も出来ます。ジップフィーは真ん中に付いているハンドルを使い体重移動して乗る新感覚の小型ソリ。最後がスノーレーサー。スウェーデンからやってきた雪上のレーシングカーでハンドル、ブレーキが付いています。ジップフィーは滑りやすいので面白い！ 叫んで転んで大爆笑♪

ソリ遊びをするのは何年振りでしょうか。ワクワクしてきた♪ 専用のコースを見ると結構な勾配。何はどうも滑ってみよう♪ 沙スノーライダー。香折ジップフィー行つてきました。

レーサーはブレーキもハンドル操作もダイレクトに利きます。私たちのオススメはスノーライダーとジップフィー。転んじやうのが樂しく何度も滑って遊びました。他にも楽しそうなアクティビティが沢山ありましたよ♪

寒い冬はバイクとはまた違った乗り物を楽しむのも凄く新鮮！ ライダーの人は絶対に楽しめ

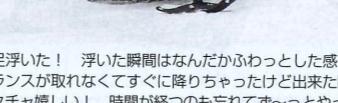
車体との一体感が増すほどさらに面白くなる！

所々にこぶがあつてアップダウンのあるコースを楽しむこともできます。気持ちはジャンプ！ しているんですけどね（笑）。



さっそく練習開始！ ハンドルを左右に振つて勢いをつけて「エイッ！」気持ちは一本足になつてゐるだけだなかなかうまいじゃない。立ち乗りでみたり、工夫して練習！

一本足走行が出来るようになれば新雪の中でも走行が出来るとのこと。先生は簡単そうにやっているけどこれがなかなか難しい。バランスをうまくとるのが大事ね！



片足浮いた！ 浮いた瞬間はなんだかふわっとした感じかな？ バランスが取れなくてすぐに降りちゃったけど出来た瞬間はメチャクチャ嬉しい！ 時間が経つても忘れてずっとやってました。

ました。8の字を終えた梨沙が香折に報告。「右はOK！ 左の方が暴走してたよ」（笑）

梨沙の苦戦を見て香折は先生からアドバイスをもらい挑戦。上手でした。目標大事ですね！ 8の字が出来たら走り回ります。

起伏が続くコースも走ります。『こわい。けどジャンプしたうい』満喫しながら走り回り、先生が新雪の中へ。「カツコイ！ やつてみたい」。恐る恐る新雪へ向かうと…「わあ～出ちゃった」梨沙は新雪に入つてみたもののハンドルがとられコースに戻つてしましました。香折は「何だあ？」それを見ていた先生から特別に片ソリ走行を教えてもらつことに。ハンドルを左右に動かし勢いをつけて片方を上げます。出来たゞでもそのまま片ソリを維持して走りなつてきた2人。あとちょっと片ソリ走行を心の中で叫ぶ…。あつという間のツアーエクスкурシヨン！ 1、2、3と声をかけて片方を上げます。出来たゞでもそのまま片ソリを維持して走行するのが難しい。先生から「体重！ ビビッちやダメー！」（分かつて）と心の中で叫ぶ…。あと少しで片ソリが掴めそうだった片ソリ走行が出来ると新雪ソーンを走れるようになり、より一層楽しくなります。次回は新雪に繰り出しあいな。須藤先生楽しいレッスン。



雪原を颯爽と駆け抜ける。この大きな車体を乗りこなせたらカッコいいですね！

では～1本足で走つてみよう！



浮いたーっ！